

スーパーグローバルハイスクール（SGH）の活動状況について

教学指導課

I 長野高等学校におけるこれまでの取組（平成26年4月～7月、1年生中心に実施）

1 授業等

(1) 課題研究「長野のグローバル戦略を探る」（総合的な学習の時間）

- ① 課題研究のオリエンテーション 4月8日～11日
- ② 1年次課題「あなたに伝えたい『長野』」
 - 1) イメージづくり 6月5日
 - 2) グループワーク 6月19日
 - 3) 課題研究の説明とプレゼン 6月28日
 - 4) アンケートを作ろう 7月3日・10日
- ③ 第1回フィールドワーク
 - 1) コース提示、希望調査、コース別参加者決定 7月3日～16日
 - 2) フィールドワークに向けての準備 7月17日～30日

(2) グローバル経済

- ① 講演会『グローバルリーダーとは』5月1日【スポーツ分野】
(株)エムウェブ 代表取締役社長 土屋 龍一郎 氏
- ② EUがきた
 - 1) 事前学習 5月8日～12日
 - 2) 講演会 『EUがきた』 5月13日
フランス大使館科学技術及び情報通信担当
エヴァリーヌ・エチュベル氏
 - 3) まとめ 5月15日
- ③ 講演会『世界に発信しよう！長野県農畜産物の魅力』
6月12日【農業・食品分野】
長野県農政部農業政策課農産物マーケティング室 企画幹 長谷川 正之 氏

課題研究のための学問的バックボーンをもつため、現代のグローバル経済に関する専門家の講義を受け、実践例や理論を学ぶ。SGHのための新設科目。

(3) 英語プロジェクトI

- ① 5月連休 Briefing Sheet 作成【プレゼンテーション準備】
5月23日・24日 プレゼンテーション
- ② 講演会『世界に向けた情報発信』5月29日【情報リテラシー】
清泉女学院短期大学教授 中村 洋一 氏
- ③ プロジェクト英語オリエンテーション「課題図書を見つける」
6月30日～7月2日
Cambridge Book サイドリーダー96冊の中からテーマ選択

課題研究のための英語による情報収集や情報発信の能力と、英語によるディスカッション等のコミュニケーション能力を向上させる。SGHのための新設科目。

(4) その他（1～3年生）

- ① 小布施×summer school by H-LAB 生徒説明会 6月2日
H-LAB 実行委員が来校して開催。生徒10人参加
- ② ECC班 ICT機器を用いたフェイスブック等による発信に挑戦

2 職員研修

- (1) 構想調書の読合せ 職員会議内 5月28日、6月4日・18日 全職員
- (2) 研修会『SGH プロジェクト英語及び課題研究に関する職員研修会』6月9日
慶應義塾大学名誉教授・立命館大学客員教授 鈴木 佑治 氏
※本校英語科教諭2人が4月22日立命館大学東京キャンパスに鈴木佑治氏を訪問し、プロジェクト発信型英語について指導を受ける。
- (3) その他
 - ① 小布施×summer school by H-LAB 実行委員長の話聞く 5月12日
 - ② 教育長講演会(上田高等学校)に参加 6月2日

3 外部との連携

- (1) 大宮 透 氏(慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント学科・小布施町ソーシャルデザインセンター研究員)との連携
 - 課題研究(含む海外研修)に係る指導・助言をいただく。海外交流アドバイザーに雇用する手続きを進めている。
- (2) 県観光協会・県観光部観光誘客課との連携
 - 2年次台湾研修旅行に向け全面的なサポートを受けている。
 - 秋に予定されている訪日台湾高級中学の来校に係る調整等を依頼

II 長野高等学校における今後の計画

1 課題研究

- 8月 分野選択
- 8月下旬 **分野決定** 分野別グループ編成
分野の学習を深める
- ↓
- テーマ決定**
- ↓
- 課題の設定
(仮説) 発信方法研究
- 12月 中間発表会 12月13日
発信
- ↓
- 仮説の検証と発信の評価
1年次のまとめと2年次の計画
- 2月 1年次発表会 2月10日

- ※フィールドワーク①
(7コース)
8月6日～8日
- ※フィールドワーク②
9月29日～10月2日
- ※フィールドワーク③以降
適宜計画予定

2 グローバル経済

- 9月25日 国際経済原論
信州大学経済学部金早雪教授と上智大学経済学部プテンカラム教授の講演会に向けた国際経済の導入学習
- 10月23日 信州大学経済学部金早雪教授講演会
「グローバル化と地域経済」 ～韓国地域経済について～
- 11月6日 金教授講演会を踏まえた国際経済に関する講義
- 12月11日 上智大学経済学部プテンカラム教授講演会
「アジアの経済成長」 ～発展途上国の持続可能な開発～
- 12月25日 プテンカラム教授講演会を踏まえたアジアの経済成長に関する講義
- 1月15日 国際経済のまとめ
信州大学経済学部金早雪教授と上智大学経済学部プテンカラム教授の講演会とその後の講義および国際経済原論のまとめ
- 2月12日 1年間のまとめ

3 英語プロジェクトI

- 9月4日 英語プロジェクトオリエンテーション
- 9月12日・13日 課題発表
〈ALT 授業を活用 2週に1コマ テキスト『プロジェクト発信型英語』鈴木佑治先生著〉
- 11月20日 英語プロジェクト関連
- 12月13日 Mini-Presentation
- 2月12日 グローバル経済+英語 (Mini-Final Presentation) 2

4 その他

- (1) 小布施×summer school by H-LAB
8月14日～20日 小布施×summer school に参加
8月22日 H-LAB 実行委員と本校生(希望者)との交流
- (2) AFP Digital Learning を用いたグローバル教育特別研究ゼミ
・AFP 通信日本支社とキャストリア株式会社が開発したグローバル教育のための新たな学習システム「AFP グローバルラーニング」の実証研究
・9月～10月 5回 本校で実施 講師 山脇 智志 氏 (キャストリア社長)
- (3) 2年次台湾研修における訪問高校との事前交流
・県観光協会・県観光部観光誘客課と連携して訪問高校を決め、ICT 機器を用いて事前交流を開始
- (4) 訪日台湾高級中学との交流
・県観光協会との連携

Ⅲ 第1回運営指導委員会

1 日時・内容等

- (1) 日時 平成26年8月4日(月) 午前10時～12時
- (2) 場所 長野高等学校
- (3) 次第
 - ① 開会(教育長あいさつ、自己紹介、正副委員長選出)
 - ② 議事
 - 1) 長野高等学校のSGH事業の計画と現況について
 - 2) 上田高等学校のSGHアソシエイト校としての取組について
 - 3) 「私の考える21世紀の学び」(一人5分で長野県の高校生に「3年間で何をどのように学ぶことが大切か」というメッセージをお寄せいただく。)

2 委員名簿 (五十音順、敬称略)

あかいけ	まなぶ	
赤池	学	(株)ユニバーサルデザイン総合研究所所長
えんどう	もりのぶ	
遠藤	守信	信州大学特別特任教授
こんどう	せいいち	
近藤	誠一	前文化庁長官、長野県文化振興事業団理事長
たきざわ	ただし	
滝澤	正	上智大学教授、前学長
にった	ともき	
仁田	知樹	青年海外協力隊駒ヶ根訓練所(JICA駒ヶ根)所長
やたか	のりお	
矢高	則夫	共同通信社論説副委員長

※任期は、平成26年5月1日から平成27年3月31日まで

長野県グローバル人材育成事業

グローバル時代に対応した、信州に根ざし世界に通じる人材の育成を図る

SGH設置事業

- ①SGH指定校の取組 ②SGH運営指導委員会

☆将来的に政治、経済、学術等の分野で活躍できるグローバル・リーダーを育成する教育課程を研究・開発し、成果の普及を図る

実践研究

教育課程開発

探究力・発信力の育成 英語力の強化

発信力育成プログラム

- ①21世紀型学力の推進
- ②発信力育成講座
- ③高校生海外研修
- ④高校生の留学促進事業

外国語教育充実支援事業

- ①英語力を強化する指導改善事業
- ②CET（英語中核教員）養成プログラム
- ③教員海外派遣研修
- ④外国語指導助手（ALT）配置事業

☆高校生の探究力・発信力を育成する
思考力・判断力・表現力の育成
ランゲージアーツ教育
コミュニケーション力の育成
プレゼンテーション技術の養成
世界を知る機会を提供

☆外国語（英語）教員の授業力・指導力の向上を図る
英語の授業改善・充実
英語教員の指導力の向上
外国語指導助手の効果的な活用
児童・生徒の英語力の向上へ

SH支援会議

スーパーグローバルハイスクール(SGH)・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の各高校の情報共有と連携強化をはかる